



親子で発見!

夏休みリサイクル探検隊!!

探検その2

古着・古布類

8月5日(火)に、町内小・中学生と保護者を対象にした夏休みリサイクル探検隊が実施されました。今回の探検隊は、各家庭から排出される資源物のうち、紙類と古着・古布類の行方を追いかけて、実際に中間処理や再生される工程を見学しました。

探検その1

紙類



紙類を束ねたひもを切り、不適物を取り除くなどの中間処理をし、古紙を梱包して製紙会社などに出荷します。



後ろに見える白い山。古紙が紙粘土状になった古紙パルプと呼ばれるもので、リサイクル製品の原料になります。



古紙パルプが製紙会社に運ばれ、ティッシュペーパーやトイレtpーパーに変わります。リサイクル製品が誕生する瞬間です。



古着・古布類も、紙類と同様に中間処理をして、再生工場に運ばれます。



古着・古布類は分別(160種類)され、使えるものは国内外に出荷、使えないものはリサイクルウエスとして再利用されます。



まだ使える衣類は丁寧に梱包され、国内に限らず、遠くはアフリカまで送られ再利用されます。

各家庭から排出された資源物が新しいものに生まれ変わる瞬間を、自分の目で確かめることによって、リサイクルを行うには分別が一番大切であることを感じていただけたのではないのでしょうか。

